

県立高校における検定試験の解答用紙の紛失について

このことについて、下記のとおり、県立高校において検定試験の解答用紙を紛失する事案が発生しました。なお、現在のところ、二次被害の発生等の報告は受けていません。

関係者の皆様には、多大な御迷惑をお掛けし、心よりお詫び申し上げます。また、今後、このようなことがないように、再発防止に万全を期してまいります。

記

1 概要

県立伊勢崎興陽高等学校において、生徒を対象に令和7年7月1日（火）に実施した検定試験の解答用紙のうち、一部を紛失したことが判明した。紛失した解答用紙は、3年生34名分の採点前の解答用紙であり、所属クラス、氏名、生徒の解答が記載されていた。

2 経緯及び関係者への対応

- （1）令和7年7月1日（火）6校時に2年生及び3年生を対象として、農業学習に関する検定試験を実施した。試験終了後、監督していた教諭1名が、3年生34名分の解答用紙をまとめ、職員室の自身の机上に置き、その後、帰宅した。
- （2）7月2日（水）該当の教諭が、出勤後、机上に解答用紙がないことに気付き、他の職員と探したが見つからなかった。7月3日（木）から7日（月）にかけて、改めて全校の職員で探したが見つからなかった。
- （3）7月8日（火）該当の生徒及び保護者に概要を説明し、謝罪した。
- （4）7月9日（水）全校生徒に概要を説明し謝罪するとともに、保護者に対して文書にて説明、謝罪した。
- （5）7月10日（木）該当の生徒に対して、検定試験の再試験を実施した。

3 再発防止について

当該高校においては、定期考査を含む解答用紙等の取扱いについて改めて全職員で確認し、適切な取扱いの徹底を図る。

県教育委員会においては、校長会等において全ての県立学校長等に対して、個人情報の適切な取扱いについて改めて指示する。